

第 383 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 4 年 7 月 5 日 (火) 11:00~13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix モーニング ラジラ
[放送日時] 令和 4 年 6 月 29(水)7:28~10:52 の内 9:30~10:52
[出演者] 高橋正純
4. 出席者 [委員] 委員長代理 服部乃利子 副委員長 角田哲康
委員 加藤裕治 委員 山本浩二 委員 土屋維子
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
編成制作部担当部長 寺田和史

事務局報告

- 第一四半期の経営に関する報告 ○ 最近の K-mix の営業状況の報告の件

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix モーニング ラジラ
[放送日時] 令和 4 年 6 月 29(水)7:28~10:52 の内 9:30~10:52
[出演者] 高橋正純
[番組内容] 放送 10 年目を迎えた、使えるインフォメーション満載の番組。
近年は、パーソナリティ・高橋正純の年相応の優しさも醸成されていると思われる。6 月 29 日の放送の中から 9:30 以降の、高橋が登場する部分をお聴きいただく。

[聴取・合評での主な意見]

土屋委員

番組を比較的最近聞いた方や、聴取期間が短い方には、少しハードルの高い番組かとも思うが、常連を含めて、聴取者からのお話を聴いていると思うと、大変、楽しい番組だと思われる。

一方で、番組の聴取期間が長い方には、高橋正純さんのテンションの高さが、少々、疲れると感じる方もいるようだが、これまで通り、テンションは高めで突き進んでほしい。全体的には、

「今日も、いつもの朝がやってきたな」という思いをさせてくれる＝ホッと場所(番組)と思うので、番組内容の多くを変えることなく、今あるものを、少しずつ色を変えて行く方が良い。

山本委員

今回の審議以前にも聴いていた。かつては、聴取者が同じ人が多いと思った時期もあったが、今回の審議を含め、最近は、幅広くなっていると感じる。

番組で投げかけた話題が、市井のお店にも影響を与えているのを、実生活で目の当たりにしたこともある。

曲目も、朝から元気が出る良い選曲だと思う。

(委員から「最新曲を選曲しているのか?」という質問があり、番組担当者から「新旧洋邦」取り上げているという回答あり。)

(自分は) 情報番組として、日頃からの聴取者でもあるので、これからも、朝から元気に情報を届けてほしい。

加藤委員

元気の出る番組で、聴くと今日一日頑張ろうという気分になる番組。ただ、朝、何かを集中して行おうとする場合は、少し、敬遠する。それだけ、使い分けをはっきり行うことができる番組であり、そこが、高橋氏の持ち味だと思う。番組のテンション、内容の広がり、聴き手が承知の上で聴いているのだと思う。

車中で聴く機会も多いが、トークのテンションとスピード感は朝の目覚めにも良いのではないだろうか。

番組内のコーナーもさすがに構成が練られている。

紹介する内容で誤解を与えないための「背景説明」、実際の生産法を紹介する「進め方」、その後の商品の「展開の紹介」と、問いかけ方が上手であり、相手を変な間を空けないように話を進めている。

今回の聴取を通じて、番組から何かができる(いろいろな番組上の展開や、営業的な展開ができそうな可能性)を感じた。

角田副委員長

良い点として「人を惹きつけるトーク力」「高橋正純が定着している安定性」があげられる。一方で、もう少し、描写が加わると良いのではないか。「色」「大きさ」「香り」が必要だった。

「リアルタイムではなく、好きな時間に聴くことができる」⇨ラジコに対し、「リアルタイムに聴くことで、より楽しむことができる」

⇨本来のラジオを見つめた時に、この番組は圧倒的に後者の

「本来のラジオ」的な番組である。新型コロナと相對する生活が徐々に広がりを見せている中で、ダイレクトな反応をこれからどのように維持して行くかが楽しみでもある。

服部委員長代理

高橋氏のトーク力に関しては、委員皆一致して評価が高い。ジグは、聴取者と共に作っている番組であり、聴取者を良い意味でいじりながら、番組を広げて行く力がある。また、高橋氏には、トークの相手の懐に入って行く力も備わっている。朝の移動時の定番番組で、やはり、高橋氏のトーク力と聴取者の反応が番組の重要要素と思われる。そのためにも、引き続き、高橋氏には、「広いアンテナを張った情報力と聴取者に向き合う対応力」を持ち続けてもらいたい。求めることは多いが、高橋氏には是非とも、頑張っていたきたい。

会社サイド

先月、審議いただきました「E-JAN ～ゲンマチカコの大人の時間」のご意見をパーソナリティ・源馬ちか子に伝えたところ、「これからも頑張ります。」と非常に喜んでおりました。ただ、曲とトークのバランス（割合）については、源馬本人の番組に対する考え方もあることから、プロデューサーと源馬の間でじっくり話をし、今後の番組の構成等を決めて行きたいと考えます。

次回開催日 令和4年9月6日（火） 11:00～13:00を予定

以上

番組審議会委員長代理

服部乃利子

